

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 9 日

茨城県知事 大井川 和彦殿

提出者 ユニマテック株式会社
住 所 茨城県北茨城市磯原町上相田 831 の 2 番地
氏 名 代表取締役社長 菊地 洋昭
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0293-42-2161 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ユニマテック株式会社 第一工場
事業場の所在地	茨城県北茨城市磯原町上相田 831 の 2 番地
計画期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	化学工業
②事業の規模	349 億
③従業員数	394 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・【汚泥】：製造施設 ⇒ 総合排水処理場 ⇒ 固液分離・【廃油】【廃酸】【廃アルカリ】【汚泥】：原料 ⇒ 反応工程 ⇒ 廃液・【廃プラ】：原料 ⇒ 反応工程 ⇒ 製品ゴム・各清掃廃却ゴム・【ガラスくず】：ガラス実験器具・サンプル瓶等・【金属くず】：乾電池・【木くず】：木パレット・梱包箱・【がれき類】：コンクリートブロック



（日本工業規格 A 列 4 番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ※別紙のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各部署に分別一覧表を配布及び廃棄物置場の日常巡回点検の実施。 ・廃棄物分別基準を厳守させる。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の推進と内容の強化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ※別紙のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

前年度(令和4年度)の実績

(t)

現 状	廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃 アルカリ	廃酸	廃プラ	ガラス類	金属くず	木くず	ガレキ
	排出量	1,923.1	690.6	582.0	71.0	192.9	2.1	0.0	12.3	0.0

(t)

計 画	廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃 アルカリ	廃酸	廃プラ	ガラス類	金属くず	木くず	ガレキ
	排出量	1,826.9	656.1	552.9	67.5	183.3	2.0	0.0	11.7	0.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

前年度(令和4年度)の実績

(t)

廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃 アルカリ	廃酸	廃プラ	ガラス類	金属くず	木くず	ガレキ
全処理委託量	1,923.1	690.6	582.0	71.0	192.9	2.1	0.0	12.3	0.0
優良認定処理業者への処理委託量	1,496.8	687.8	582.0	71.0	152.1	2.06	-	12.3	-
再生利用業者への処理委託量	426.3	2.8	-	-	40.8	0.04	-	-	-
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									

※ これまでに実施した取り組み

- ・各部署ごとに廃棄物削減目標を掲げて取り組みを行った。
- ・廃棄物削減プロジェクトで発生抑制、削減の取り組みを行った。
- ・廃棄物の少ない製法への転換を行った。

計画

(t)

廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃 アルカリ	廃酸	廃プラ	ガラス類	金属くず	木くず	ガレキ
全処理委託量	1,826.9	656.1	552.9	67.5	183.3	2.0	0.0	11.7	0.0
優良認定処理業者への処理委託量	1,794.1	653.4	552.9	67.5	144.8	2.0	-	11.7	-
再生利用業者への処理委託量	32.9	2.6	-	-	38.5	-	-	-	-
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									

※ 今後実施する予定の取り組み

- ・現状の取り組みを推進し、更に廃棄物の発生抑制及び削減を進めて行く。